

となりの会社はどうしてる？

職場の居心地 WEB 調査

2024年版

PLUS Furniture Company

もくじ

テーマ：離れて座っていることによる課題 4ページ

「同じ部署やチームのメンバーが離れて座っている」ことによる課題を感じたことはありますか。

スムーズに仕事を進めるにあたって、フリーアドレス制のオフィスであっても、「同じ部署やチームのメンバーと近くの席で働く」機会は必要だと思いますか。理想的と感じる頻度をお答えください。

予約制の席と、フリーで座れる席の割合は、どれくらいが理想的だと思いますか。

フリーで座れる席には、どのような要素が欲しいと思いますか。

テーマ：昼寝のメリット、頻度や長さ 9ページ

職場で『昼寝』をすると、作業効率の向上などの良い効果が得られると思いますか。

ご自身の職場で昼寝をしていますか？

職場で昼寝をするとき、どのくらいの時間眠りますか。

職場での昼寝から目を覚ますとき、以下のような課題を感じることはありますか。

「昼寝からの起床時に感じる課題」上位2項目×「一回あたりの昼寝時間の長さ」クロス集計

もくじ

テーマ：会社を誰かに自慢できるか 15ページ

あなたが現在勤める会社には、誰かに「自慢できる」と思うところがありますか。

自慢できると思うポイントとして、当てはまるものをすべてお答えください。

特に自慢できると思う点を具体的に教えてください。

どんなポイントが改善されれば、良くなると思いますか。当てはまるものをすべてお答えください。

「会社に自慢できることがあるか」×「現在の会社に長く勤めたいか」クロス集計

Theme | 離れて座っていることによる課題

フリーアドレス経験者の

79.3% は、

同じ部署の人たちと
近くの席で働く
時間もほしい

職場の居心地 WEB 調査



皆さんの職場では、「フリーアドレス制」を導入したことや、導入を検討されたことはありますか？

固定席を持たず自由に座席を選択できるフリーアドレス制には、部門の垣根を越えたコミュニケーション促進などのメリットがありますが、一方で「同じ部署のメンバーと集まって座る機会が減った」という声も耳にします。そこでフリーアドレス経験者300名を対象に、「部署やチームのメンバーが離れて座っていることによる課題」などを尋ねるアンケート調査を実施しました。

[アンケート実施情報]

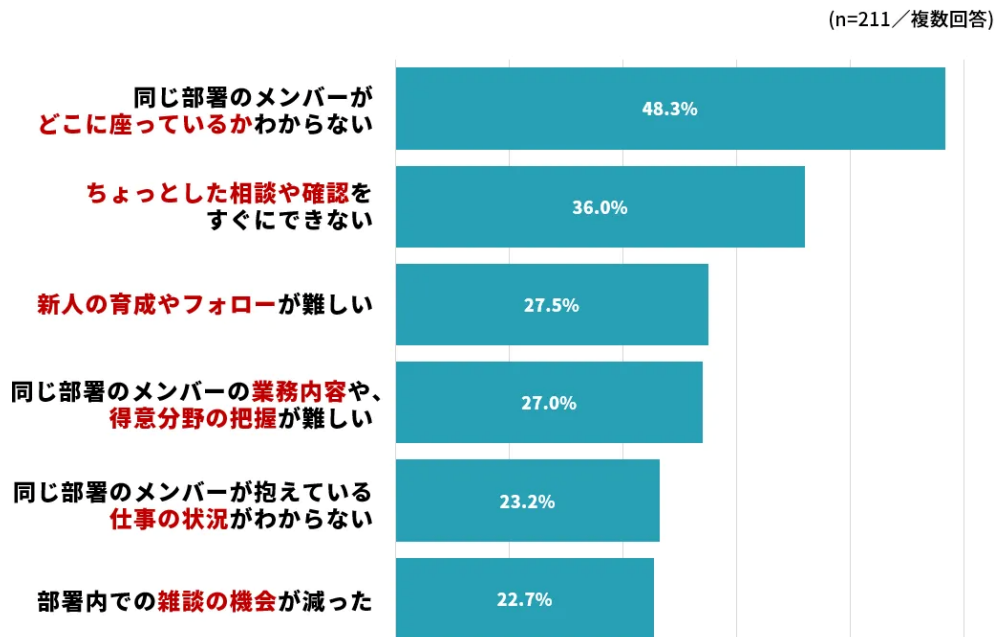
方法：インターネット調査

回収日：2023年12月27日

対象：従業員数100名以上のオフィスで働く、デスクワークを含む業務を行う勤続年数3年以上の会社員、公務員

サンプル数：300人

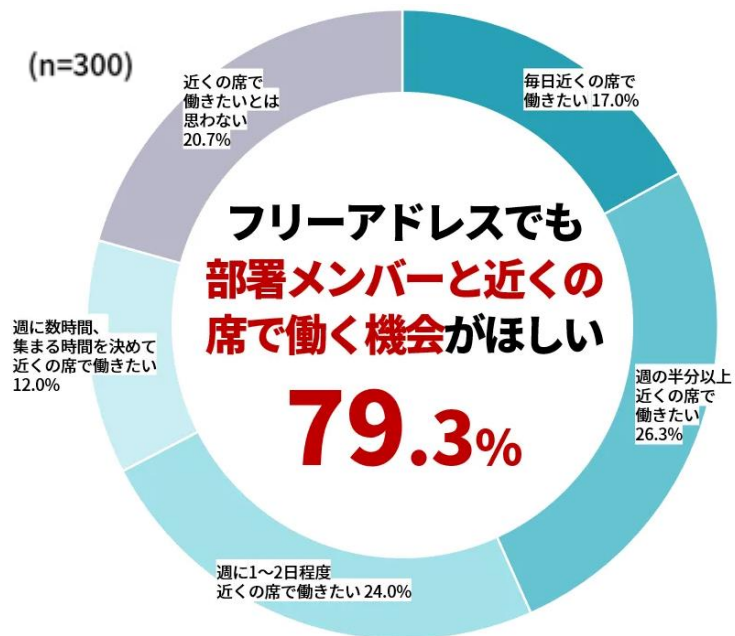
フリーアドレスオフィスで働いている方／働いた経験のある方にお伺いします。
「同じ部署やチームのメンバーが離れて座っている」ことによる課題を感じたことはありますか。



「部署やチームのメンバーが離れて座っている」ことによる課題を感じたことがあるかを尋ねたところ、70.3%が「ある」と回答しました。課題の内訳を見ていくと「同じ部署のメンバーがどこに座っているかわからない」が48.3%で最も多く、「ちょっとした相談や確認をすぐにできない」「新人の育成やフォローが難しい」と続きました。

フリーアドレス制のメリットの一つに「部署の垣根を越えた偶発的なコミュニケーションを生む」ことがある一方で、同じ部署のメンバーが離れて座ることに対して課題を感じている人は約7割と多いようです。

スムーズに仕事を進めるにあたって、フリーアドレス制のオフィスであっても、「同じ部署やチームのメンバーと近くの席で働く」機会が必要だと思いますか。理想的と感じる頻度をお答えください。



【年代別】フリーアドレス制であっても、
同じ部署のメンバーと近くの席で働きたいと思うか

	n数	毎日常近の席で働きたい	週の半分以上近くの席で働きたい	週に1~2日程度近くの席で働きたい	週に数時間、集まる時間を決めて近くの席で働きたい	近くの席で働きたいとは思わない
全体平均	300	17.0%	26.3%	24.0%	12.0%	20.7%
20代	90	15.6%	25.6%	25.6%	8.9%	24.4%
30代	81	17.3%	30.9%	25.9%	9.9%	16.1%
40代	53	15.1%	20.8%	30.2%	11.3%	22.6%
50代	53	17.0%	30.2%	15.1%	13.2%	24.5%
60代以上	23	26.1%	17.4%	17.4%	30.4%	8.7%

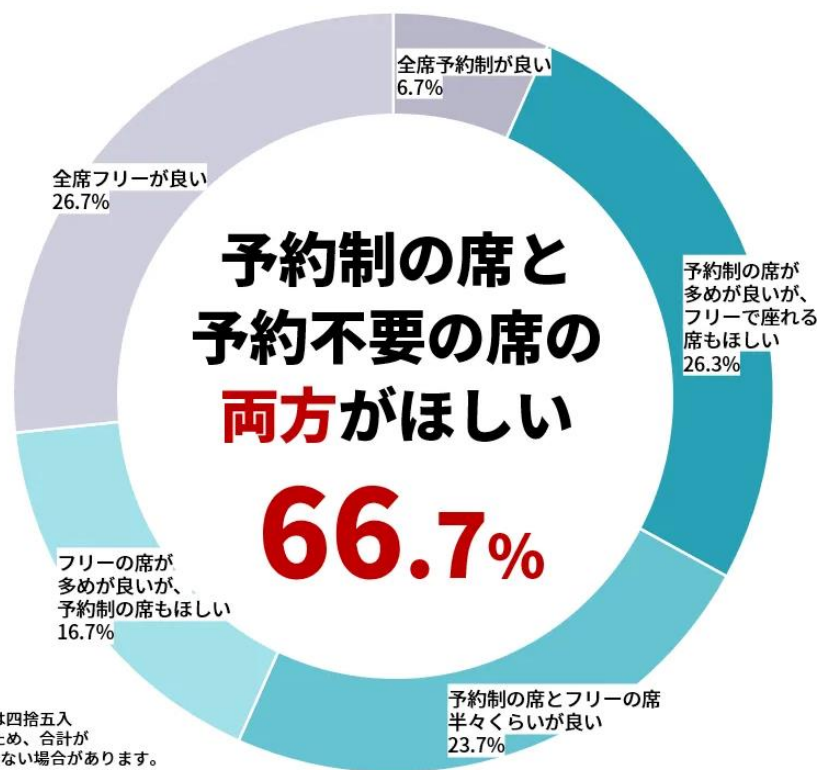
※オレンジセル=全体平均より8ポイント以上高いまたは低い

「近くの席で働きたい」（＝グラフ青緑部分）は79.3%で、頻度の差はあれど多くの方がそのように考えていることが分かりました。男女別の回答に大きな差は見受けられませんでした。年代別では差が出ており、60代以上で「毎日」が全体より9.1ポイント高く、「働きたいとは思わない」が12.0ポイント低い結果となりました。

約8割の人は部署メンバーと近くの席で働きたいと考える一方、一般的なフリーアドレスオフィスでは全員で座る席の確保は難しいため、チーム予約の仕組みを設けるなど、運用面での工夫が必要になりそうです。

予約制の席と、フリーで座れる席の割合は、どれくらいが理想的だと思いますか。

(n=300)



予約制・予約不要の席、両方がほしい

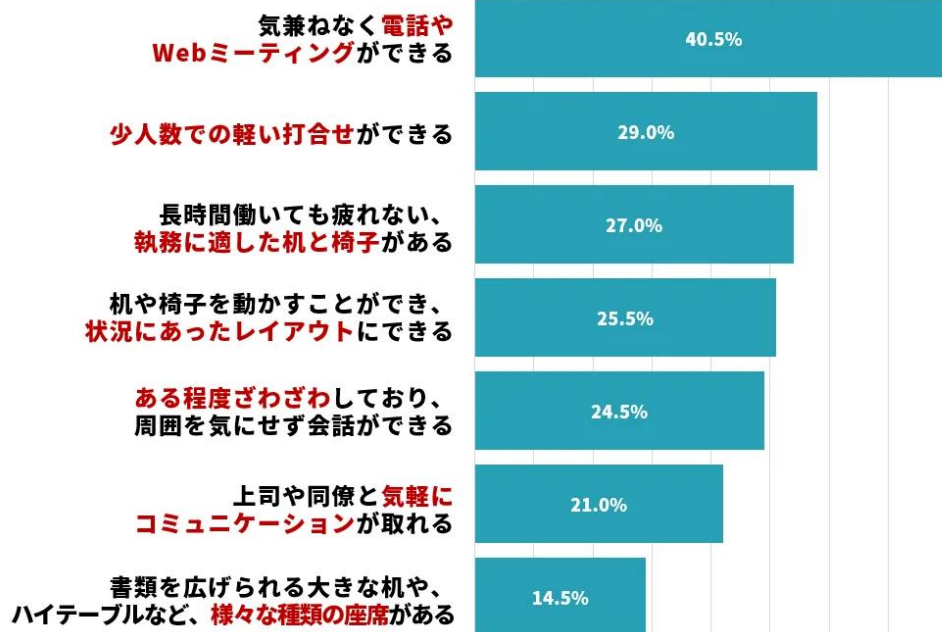
66.7 %

「予約制の席が多めが良いが、フリーで座れる席もほしい」「予約制の席とフリーの席半々くらいが良い」「フリーの席が多めが良いが、予約制の席もほしい」の合計（＝グラフ青緑部分）が66.7%となりました。

どちらか一方ではなく両方を望む回答が過半数を占めました。「全席予約制が良い」と答えた人は6.7%と少なく、反対に「全席フリーが良い」と答えた人は4分の1程度でした。

「予約制の席とフリーの席の両方がほしい」とお答えになった方にお伺いします。
フリーで座れる席には、どのような要素が欲しいと思いますか。当てはまるものを全て
お選びください。

(n=200／複数回答)



「予約制の席とフリーの席の両方がほしい」と回答した人を対象に、「予約不要の席」に求める要素について複数回答で尋ねたところ、最も多くの回答を集めたのは「気兼ねなく電話やWebミーティングができる」で、以降はほぼ横並びの結果となりました。

ただし、「打合せができる」ことや「長時間働いても疲れない」ことなどニーズが分散していることから、用途を限定せず、会話や打合せも気兼ねなくできる活気ある空間をつくることが求められていそうです。

Theme | 昼寝のメリット、頻度や長さ

職場で週に一回以上
昼寝をする人は

35.4%

職場の居心地 WEB 調査



「15分程度の短い仮眠が仕事のパフォーマンスを高める」といった話をよく耳にしますが、皆さんは職場で『昼寝』をとっていますか？

「毎日昼寝している」という方もいれば、「昼寝に良い効果があると知っていても、実際はできていない……」という方も多いのでは。

そこでデスクワーク中心の会社員500名を対象に、「昼寝が作業効率向上に与えるメリット」や「昼寝の頻度や長さ」などを尋ねるアンケート調査を実施しました。

[アンケート実施情報]

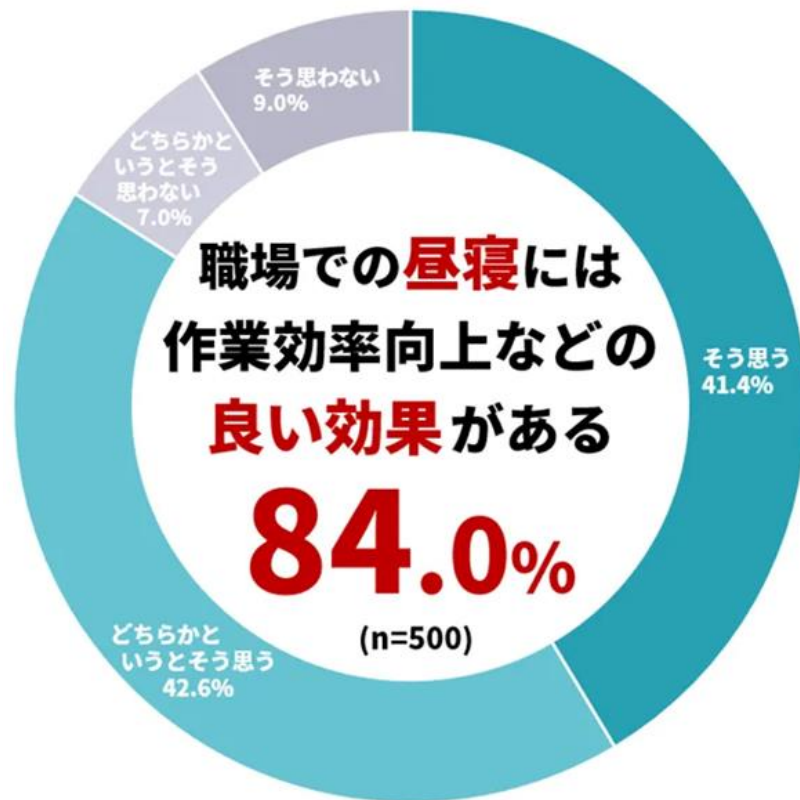
方法：インターネット調査

回収日：2023年12月18日

対象：従業員数100名以上のオフィスで働く、デスクワークが中心の、フルリモートワークではない日本全国の会社員
サンプル数：500人



あなたは、職場で『昼寝』をすると、作業効率の向上などの良い効果が得られると思いますか。



昼寝には良い効果がある

84.0 %

「職場で『昼寝』をすると、作業効率の向上などの良い効果が得られると思うか」と尋ねたところ、84%が「ある」と回答しました。

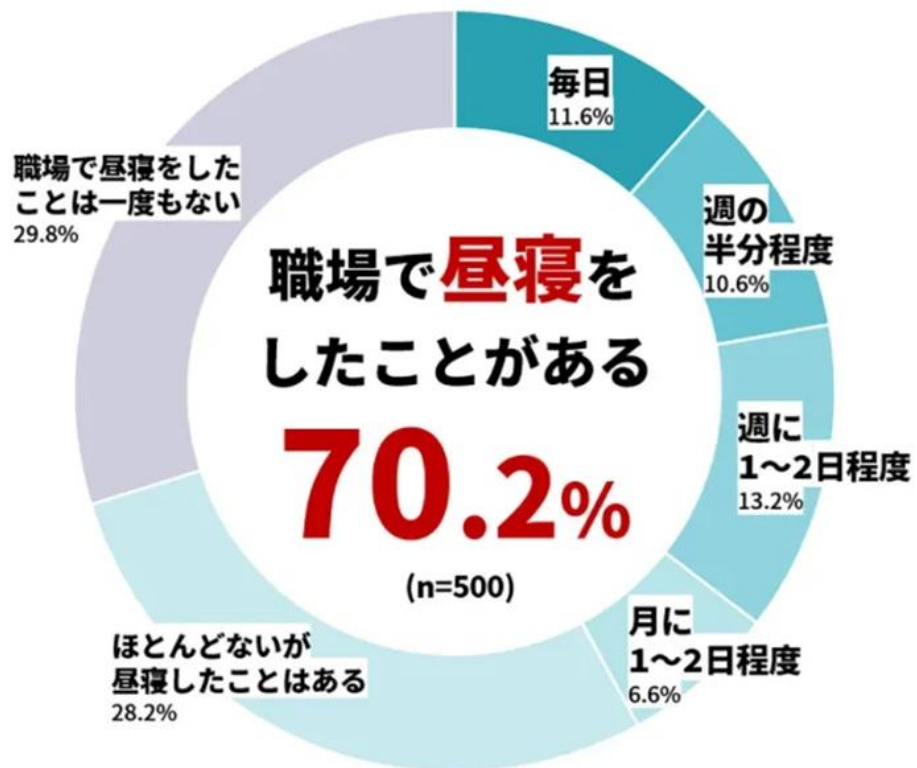
84%の人が職場での昼寝に良い効果があると考えており、昼寝が生産性に与える効果を認めているようですね。

以前の調査（下記参考データ参照）では、「仮眠スペース」や「昼寝制度」導入の課題についても訊いていますので、そちらの記事も併せてご覧ください。

<https://kagu.plus.co.jp/3618/>



あなたは、ご自身の職場で昼寝をしていますか？



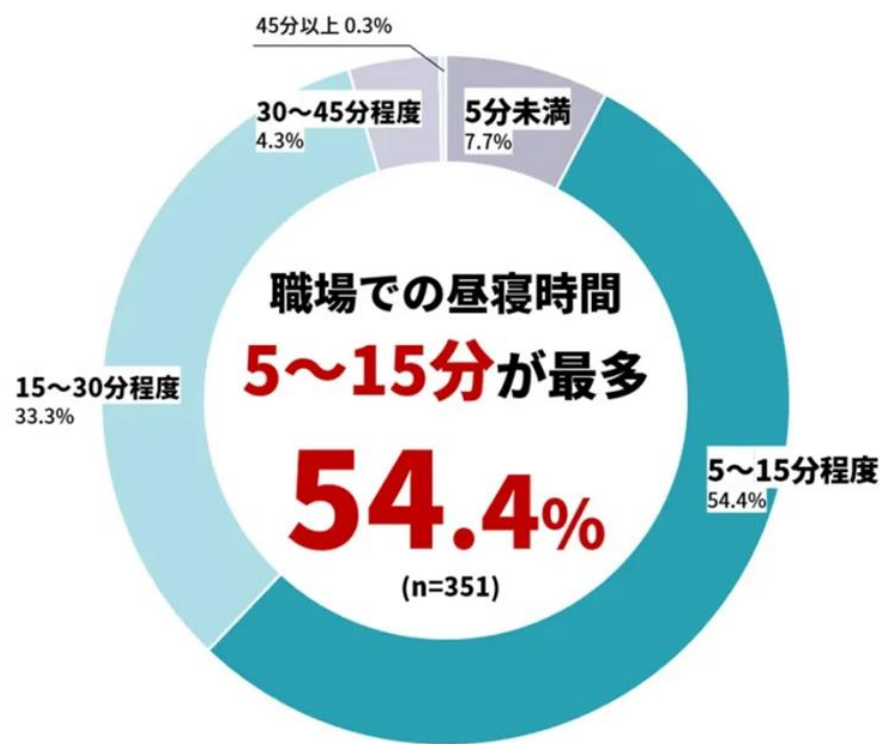
職場で昼寝をしたことがある

70.2 %

「毎日」「週の半分程度」「週に1〜2日程度」「月に1〜2日程度」「ほとんどないが昼寝したことはある」の合計（＝グラフ青緑部分）は70.2%で、頻度の差はあれど職場で昼寝をとった経験のある人が多いことがわかりました。

「職場で週に一回以上昼寝をする」人が35.4%という結果になりましたが、皆さんの職場ではいかがでしょうか。多くの人が昼寝のメリットを認めている一方で「職場で昼寝をしたことが一度もない」という人も29.8%いるようです。

職場で昼寝をしたことがあると回答した方にお伺いします。
あなたは職場で昼寝をするとき、どのくらいの時間眠りますか。



職場での昼寝時間は5～15分

54.4 %

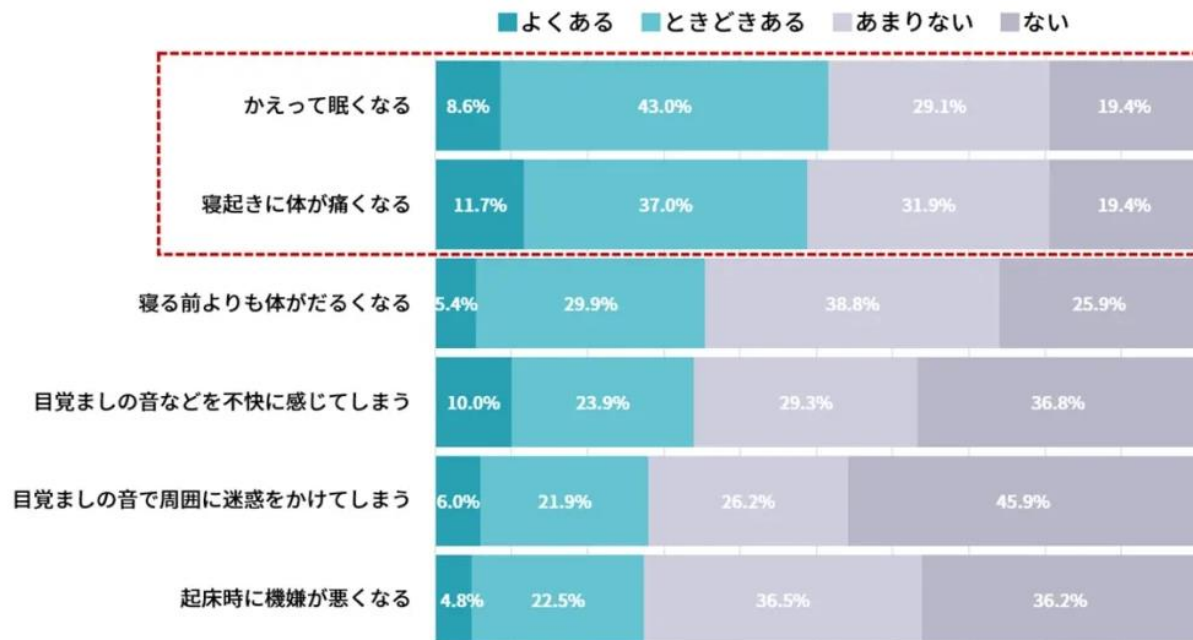
職場で昼寝したことがあると回答した351名に対し「一回あたりの昼寝時間の長さ」を尋ねたところ、「5分未満」が7.7%、「5～15分程度」が54.4%、「15～30分程度」が33.3%、「30～45分程度」が4.3%、「45分以上」が0.3%となりました。

職場での昼寝を「5～15分」「15～30分」といった短時間で済ませる人（＝グラフ青緑部分）が多いようです。



あなたは、職場での昼寝から目を覚ますとき、以下のような課題を感じることはありますか。

(n=351)



職場で昼寝したことがあると回答した351名に対し、昼寝からの起床時に感じる課題について尋ねたところ、「かえて眠くなる」が51.6%で最も多く、次に「寝起きに体が痛くなる」が48.7%で続きました。

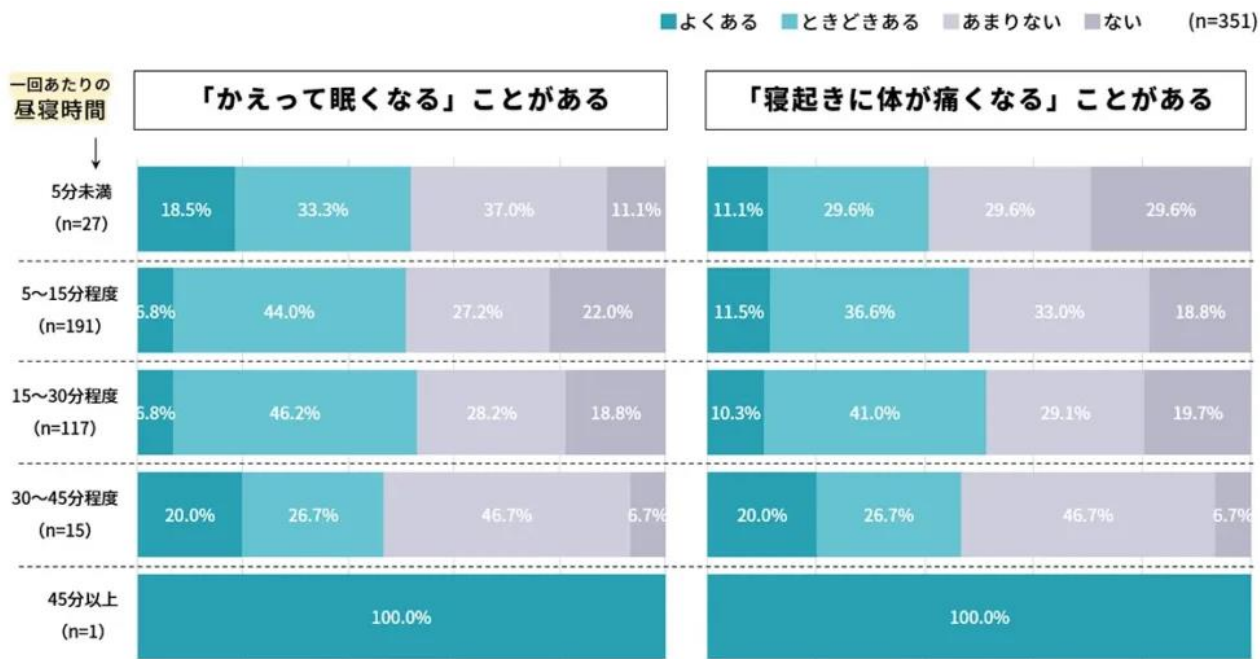


「昼寝からの起床時に感じる課題」 上位2項目

×

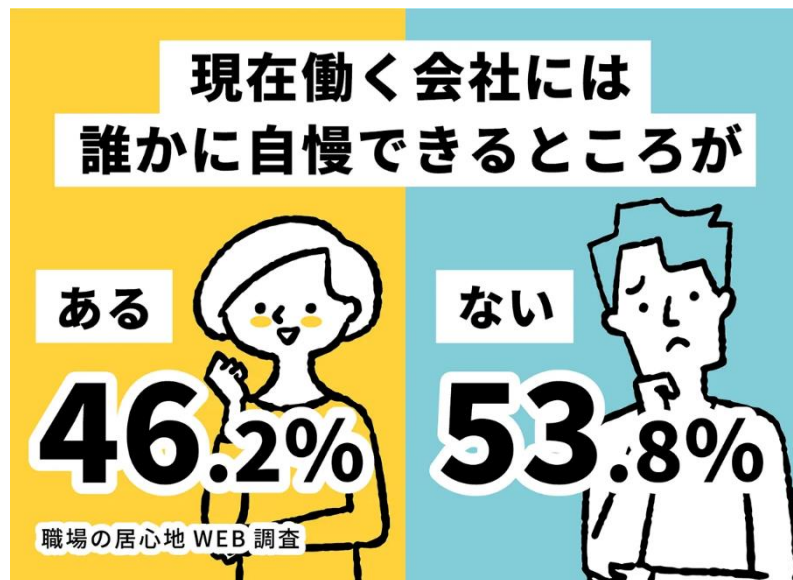
「一回あたりの昼寝時間の長さ」 クロス集計

(n=351)



起床時に感じる課題上位2つ「かえって眠くなる」「寝起きに体が痛くなる」について、昼寝時間の長さとの関連を調べるためクロス集計を行いました。時間別で比較したとき特段大きな差は見受けられませんが、「かえって眠くなる」について「5～15分程度」「15～30分程度」では「よくある」と回答した人が他と比べ少なく、「30～45分程度」を越えると両項目で「よくある」の回答者が20%を超えといった特徴が見られました。

Theme | 会社を誰かに自慢できるか



あなたが現在働いている会社には、「誰かに自慢できる」と思うところがありますか？

今回は、デスクワーク中心の会社員500名を対象に、「自慢できるポイント」や「改善してほしいポイント」、「今の会社に長く勤めたいか」などを尋ねるアンケート調査を実施しました。

[アンケート実施情報]

方法：インターネット調査

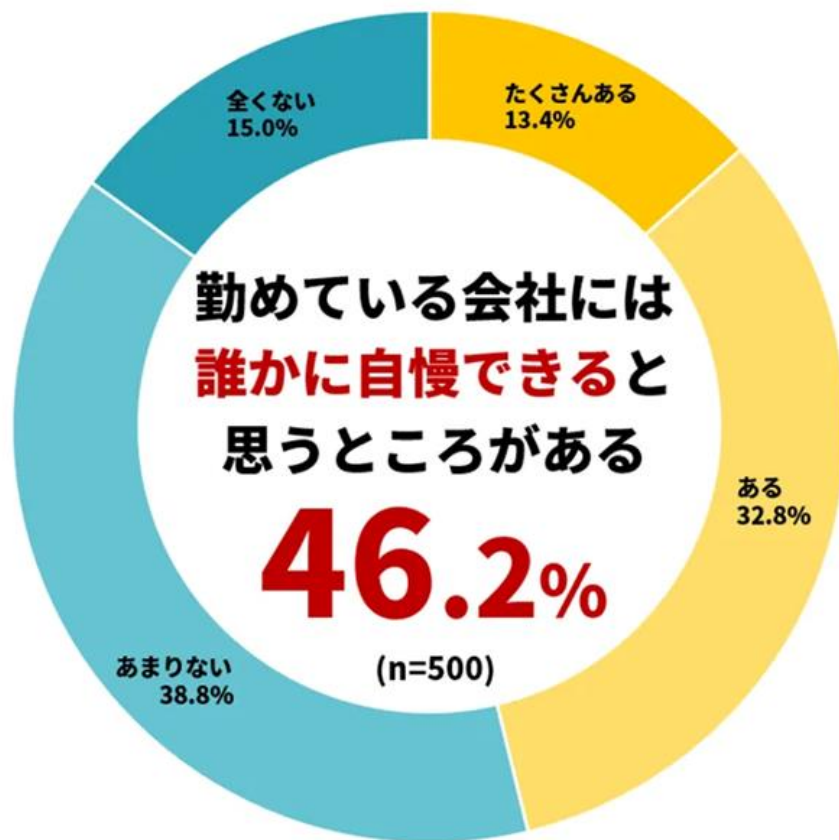
回収日：2024年3月26日

対象：従業員数100名以上のオフィスで働く、デスクワークが中心の、フルリモートワークではない日本全国の会社員

サンプル数：500人

Q あなたが現在勤める会社には、誰かに「自慢できる」と思うところがありますか。

(n=500)



努めている会社には
誰かに自慢できると思うところがある

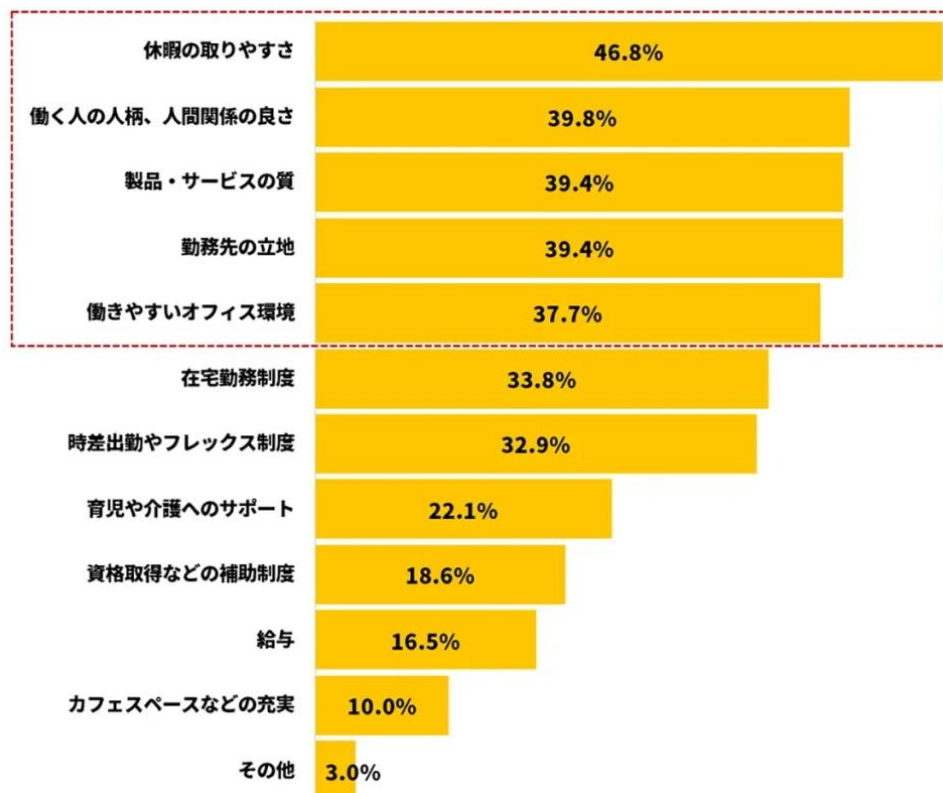
46.2 %

「あなたが現在勤める会社には、誰かに自慢できると思うところがありますか」と尋ねたところ、「たくさんある」「ある」の合計が46.2%、「あまりない」「全くない」の合計が53.8%となりました。

自慢できるところが「ない」人の割合が「ある」人の割合をやや上回る形となりましたが、ほぼ半々の結果になりました。

自慢できるところが「たくさんある」「ある」とお答えになった方にお伺いします。
自慢できると思うポイントとして、当てはまるものをすべてお答えください。

(n=231／複数回答)



「休暇の取りやすさ」が1位

46.8 %

自慢できるところが「ある」「たくさんある」と回答した231名に対し『自慢できるポイント』を複数回答で尋ねたところ、「休暇の取りやすさ」「働く人の人柄、人間関係」「製品・サービスの質」「勤務先の立地」「働きやすいオフィス環境」が上位5項目となりました。

自慢できること1位は「休暇の取りやすさ」でした。仕事とプライベートとの両立を重要なポイントとして捉えている人が多いのかもしれませんが、「人間関係の良さ」や「働きやすいオフィス環境」についても、約4割の人が自慢できるポイントとして挙げているようです。

自慢できるところが「たくさんある」「ある」とお答えになった方にお伺いします。
特に自慢できると思う点を具体的に教えてください。

(n=231)

■製品やサービスの質、事業内容が良い

「地域に貢献し、**地域の発展に役立っている**と思う」

「サステナビリティに配慮した環境志向の最先端の製品を**世界に率先して作っている**」

■企業としての歴史や安定性が自慢

「**創業後90年以上**たった。もっと歴史のある会社もあるが、長い部類ではないかと思う」

■働く人の人柄、人間関係が良い

「穏やか、さばさばしている人が多いので**人間関係も適切な距離感で良い**」

「人柄の良い人が多く、**円滑なコミュニケーション**を取りながら仕事を進められる。困りごとがあった時も周りや上司に相談して解決に向かうことができる」

■意見交換がしやすく、チームで問題を解決できる

「職位によらず、**正しいと考えることを主張できる**」

「何か課題が発生すると、**いろんな部署を巻き込んだ対応**が取りやすい」

■オフィス環境が良い

「**オフィスが綺麗**」

「**フリースペースがあり**同僚や上司との雑談で関係を深められる」

「コロナ以降、働き方改革が広がり、**社内や社外にワーキングスペースがたくさん出来て**働きやすくなったこと」

■休暇が取りやすい

「子育て世代が多く、**突然の休暇取得にも寛容**」

「**有給休暇の取得率が高く**、若い人達も働きやすい環境にある」

■資格補助制度などが整っている

「**資格取得には積極的に支援**しており、場合によっては全額が会社負担してくれます」

「**自己研鑽に対する補助金制度**などが充実している」

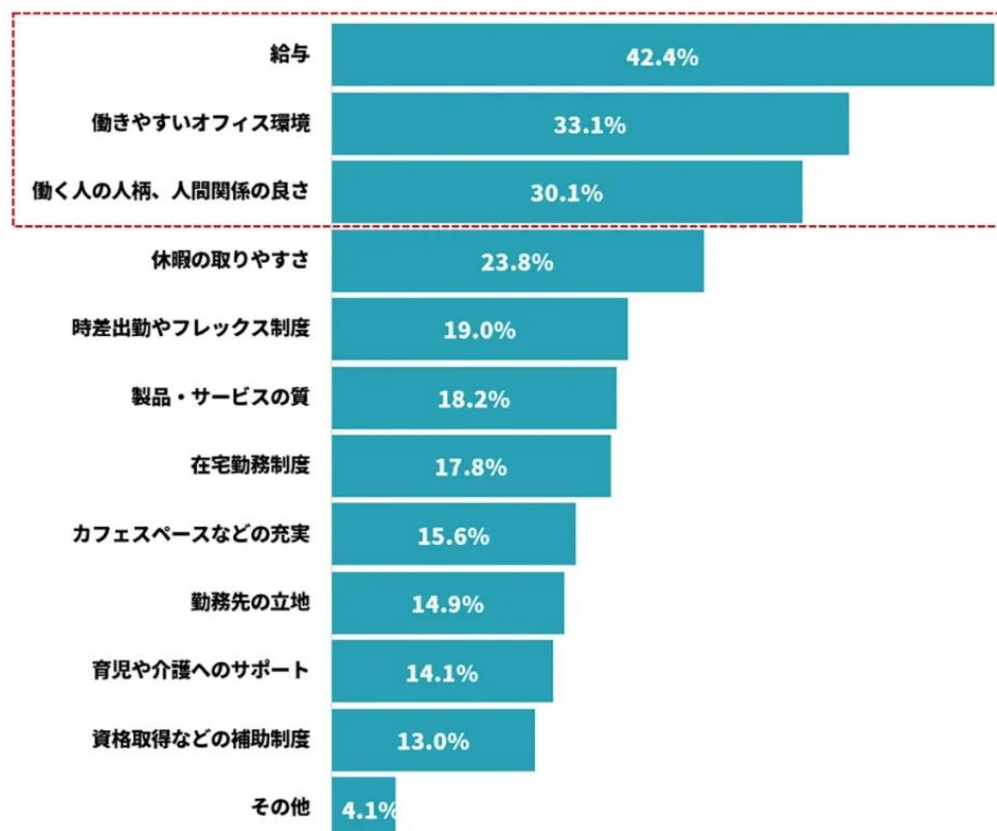
■食事の補助が充実している

「**社内食がレストラン並みに充実**しており様々な種類があって、しかも価格が安い」

「カフェスペースがあり、自動販売機の飲み物やお菓子が**飲み・食べ放題**なところ」

自慢できるところが「あまりない」「全くない」とお答えになった方にお伺いします。
どんなポイントが改善されれば、良くなると思いますか。当てはまるものをすべてお答えください。

(n=269／複数回答)



「給与」が1位

42.4 %

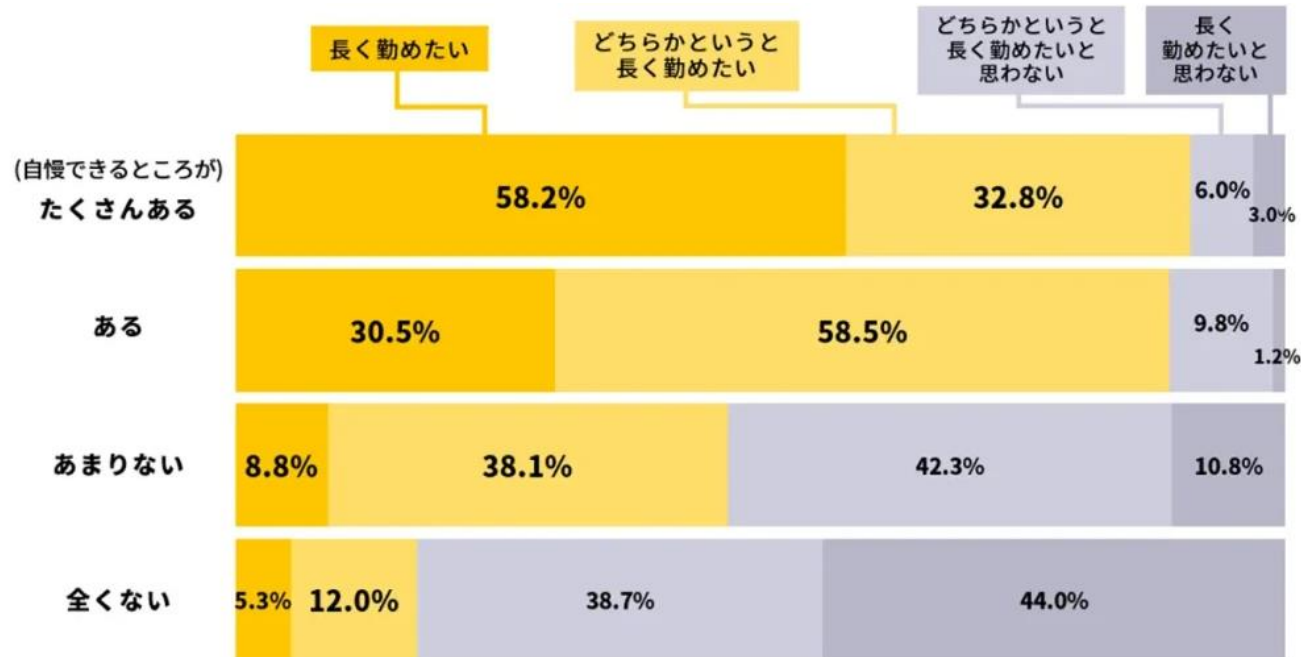
自慢できるところが「あまりない」「全くない」と回答した269名に対し『改善してほしいポイント』を複数回答で尋ねたところ、「給与」「働きやすいオフィス環境」「働く人の人柄、人間関係の良さ」が上位3項目となりました。

改善してほしいこと1位は「給与」でした。「人間関係の良さ」と「働きやすいオフィス環境」は改善してほしいポイント・自慢できるポイントの両方で上位に挙がっており、関心の高さが伺えます。



あなたは、現在勤める会社に「長く勤めたい」と感じますか？

(n=500)



「現在の会社に長く勤めたいと思うか」と尋ね、「会社に自慢できるところがあるか」とのクロス集計を行いました。自慢できるところが「たくさんある」グループでは「長く勤めたい」「どちらかというと長く勤めたい」の合計が91%であったのに対し、「全くない」グループでは17.3%に留まりました。自慢できるところがある人と、そうでない人との差が大きく開く形となりました。

前問でポイントとして挙がっていた「人間関係の良さ」は一朝一夕で改善できるものではありませんが、「働きやすいオフィス環境」など変化が目に見えてわかるものから取り組んでいくことは有効だと考えられます。